

STUDENT INTERVIEW

木戸 勇太郎 (2010年11月入学)

僕はシンガポールで

日本語教師になる。



JALCを選んだ理由

オーストラリアの大学に通っている頃から日本語教育にとっても興味がありました。そして日本語を非日本語話者に教えたいと実際に考え始めた時に JALC で働いていた経験のある知人に JALC を紹介され、授業を見学してみて「これだ!」と感じて JALC を選びました。

卒業後の展望について

シンガポールで日本語教師になりたいと考えています。そのためのシンガポールへの片道切符はもう買いました。そしてシンガポールの経済を支える人材の育成に貢献したいと思っています。

授業内容について

模擬授業とフィードバックがメインで、その模擬授業を行う上での文法や教授法に関する注意点などの授業が事前に行われます。模擬授業では対象学習者が実際に遭遇するであろうシチュエーションを設定して授業の流れや内容を作るため、実践的でとても興味深いです。またその他に文法研究や文化研究・教育実習などクラスメートとのグループワークもあります。JALC では日本語の教え方だけではなく、様々な切り口で「日本そのものを考える授業」も展開しており、JALC の醍醐味のひとつでもあります。

皆様へメッセージ

JALC は卒業後すぐに日本語教師になれるようにするためのコースであるため色々大変なこともあると思いますが、自分の夢を叶えたいという思いを持って努力を積み重ねれば、素晴らしい日本語教師になれると信じています。

